

【 事業者向け 】 児童発達支援 自己評価表

5名回答

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・使用できるスペースを工夫しながら活用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・施設はバリアフリーとなっている。 ・訓練室内は不必要な物を置かず、安全かつ構造化に配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			・毎日職員が朝と夕方に施設内を清掃し、消毒をしている。空気洗浄機を稼働し清潔を保ちながら活動の場を提供することに努めている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・申し送りやスタッフ会議にて、職員間で情報を共有し、目標についてや振り返りをしている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・評価表とは別に、年に一度保護者に向けてアンケートをお願いし、意見を頂いている。業務の改善や職員のスキル向上に努めていきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			・年に一度、第三者委員より講評をいただいている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・視察研修や勉強会なども実施している。施設内の研修にも積極的に参加し職員全体の資質向上に努めている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			・アセスメントにより、保護者や子どものニーズの把握に努め、年に2回の個別支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			・発達支援(生活・社会性・運動)や家族支援については、個別支援計画の項目に盛り込んでいる。 ・地域支援については、保護者の了承を得た上で関係機関への訪問や情報交換に努め、個別支援計画に反映させている。 ・家族支援については、保護者付添の活動が主であるため、活動中に個別に対応させていただいている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			・個別支援計画をチームで共有し、それに添った支援に努めている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・週交代で、立案者を中心として、チームで相談しながら発達支援のプログラムを作っている。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・年間スケジュールを作成し、プログラムが偏らないように工夫している。	

	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			・個々の年齢や特性に応じて、集団と個別の支援を組み合わせ提供させていたいただいている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・毎朝のミーティングを開催し、当日の利用児の支援についてや、プログラム内容、職員の動きを確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・職員間で、その日の支援をふり返り、担当者がケース記録にまとめている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・観察と記録を丁寧に行い、それをもとにチームで話合っている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・定期モニタリングの他にも、保護者とのコミュニケーションを大事にして、計画の見直しが必要かを判断している。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・主に、児童発達支援責任者が参加し、必要であれば担当職員も参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			・3歳児健診や関係機関からの紹介もあるため、その都度情報交換しながら連携している。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		・現在のところ、該当なし。 ・地域の医療的ケアが必要な子どもについての情報共有や、専門機関との連携に努めている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		・現在のところ、該当なし。
	25	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・未就園児で利用する子どもがいないため、今のところ機会がない。
	26	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行にむけた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・小学校や保護者からの依頼があった場合は、就学前の支援内容については情報提供している。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・複数の事業所を利用しているお子さんについては、必要に応じて電話等で情報交換をしている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			・自立支援協議会児童支援部会や自治体主催の支援会議に参加し情報交換をしている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・主に保護者付添の活動をしているため、活動中に保護者とコミュニケーションをとりながらお子さんの様子について共有している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			・子育てや関わり方に悩む保護者については、ペアレントトレーニングを勧めている。長期間のプログラムは少数の保護者にしか実施できていないが、個別支援の時に必要な助言に努めている。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約の際に、説明をしている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・保護者からの相談があった際は、早急な対応に心がけ、面談の機会を設けている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・現在は父母の会などの活動はない。保護者同士の交流会や勉強会を開催して、参加者に必要な情報を発信している。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・保護者からの相談内容を整理し、チームや関係機関と必要な体制の検討をしている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・年に2回の会報を発行している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			・個人情報の取り扱いについては、同意書にサインをいただいている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・子どもの特性に応じたコミュニケーションや伝え方に配慮している。付添の保護者とのコミュニケーションに加え、参加できない保護者へも伝達不足がないように配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		・感染症対策を継続している中、地域を招待した行事の開催は難しさがあった。会報などで、活動を発信して、地域の中の事業所としての運営を心がけている。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・地震や火事を想定した訓練を、利用児や保護者とともにやっている。今年は地震体験車も体験している。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		○		・アセスメントにて、持病やアレルギー、服薬の把握をしている。定期的に保護者に聞き取り、変更の把握にも努めている。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・食事提供は行っていないが、特別行事の中で飲食を伴う活動の場合は、対象者には事前に再確認している。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハットは、積極的に取り上げており、記録をとり振り返りを行っている。事例集は作成していない。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・虐待防止委員会によるチェックリストの実施や、施設内の研修に全職員が参加し、防止に努めている。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			